

映画『無防備』は映倫審査でR18+に指定されました。

緊急
告知

無防備

昨年のPFFぴあフィルムフェスティバルと釜山国際映画祭で見事グランプリを受賞した、市井昌秀監督作『無防備』。国内外で高い評価をうけている本作だが、クライマックスに実際の出産シーンがあるという理由で映画倫理委員会(映倫)から、R18+〈18歳以上がご覧になれます〉に指定されました。

映倫の指定理由

「大人向きの作品で、極めて刺激的な出産場面がみられ、標記区分に指定します。」

R指定は受けましたが、出産シーンを真正面から捉えた映画が映倫審査を通ったのは、

『無防備』が史上初！

日本映画史に残る感動の出産シーン。これは衝撃のドキュメンタリーか!?

田園に囲まれたプラスチック工場と、夫との仲が冷え切った家を送るだけの単調な毎日を送る30代主婦、律子。彼女の前に、妊娠した20代の千夏が現れたことから、律子の心に大きな変化が生じてくる。新たな生命の“誕生”と、ある事故をきっかけに死んだような生活を送ることになっていた主婦の“再生”の物語を、監督の妻の実際の出産をクライマックスに、感動的に描いた衝撃作。監督・脚本は、「ぐるりのこと。」橋口亮輔、「フラガール」李相日、「かもめ食堂」荻上直子に続く、PFF出身の日本映画新世代、気鋭、市井昌秀。

『無防備』は、第30回PFFにてグランプリ含めた3部門を受賞し、さらに第13回釜山国際映画祭コンペティション部門でも審査委員長アンナ・カーナに絶賛され見事グランプリに輝いた。

www.muboubi.com

2008年/日本/88分/デジタル/カラー

監督・脚本：市井昌秀

出演：森谷文子、今野早苗、西本竜樹、中村邦晃

製作：M. ICHII、CLEO、エスピーオー/協力：PFF事務局

配給：エスピーオー+マジックアワー



とつきとおか

10月10日よりシネマート新宿ロードショー!!

近日公開 シネマート心齋橋 名古屋シネマテークほか全国順次